陳情・意見書案の審査結果

陳情ってなに？

国や地方公共団体などの公共機関に対して、その実情を訴え、一定の措置を行うよう、または行わないよう要望する行為のことです。



意見書ってなに？

議会がその意思を意見としてまとめ、国会や関係機関に提出するものです。

請願や陳情の願意に沿ったものや、議員発案で提案されるものがあります。

〈長期休暇中の子どもの貧困対策および緊急セーフティーネットの強化を求める意見書〉

全会一致で可決

長引く物価高騰の影響等により、低所得の子育て世帯やひとり親世帯の生活苦が深刻化しています。特に長期休暇中の子どもの健康リスクや家庭の孤立化は深刻な課題です。

この課題解消のため、冷暖房を含め快適に過ごせる居場所・食の確保、必要な家庭への支援や情報提供などの「長期休暇こども緊急セーフティネット」の早期構築を、国・県に求める内容です。

総務経済常任委員会から提案されました。

〈義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める陳情、意見書〉

全会一致で採択、可決

長野県教職員組合諏訪支部から、毎年提出される陳情です。今年「義務標準法」が改正され、小学校に続き中学校の学級編制基準が 2028 年度までに 35 人に引き下げられます。また、長野県では今年度から独自に小学校 1 年生の「25 人規模学級編制」が導入されました。しかし、教職員の採用・配置に係る財政措置が伴わず、公教育に地域間格差が生じかねません。

全国どこでも同じ水準の教育が受けられるようにするための義務教育費国庫負担制度の維持と、2006 年に1/3に引き下げられた国庫負担率をそれ以前の1/2に戻すことを国に求める内容です。

陳情採択を受けた意見書案が、生活文教常任委員会から提案されました。

〈さらなる少人数学級の推進と教職員定数改善のための教育予算確保を求める陳情、意見書〉

全会一致で採択、可決

こちらも、毎年長野県教職員組合諏訪支部から提出される陳情です。多様なニーズをもつ子ども一人ひとりに寄り添った指導・支援を行うには、国の責任によりさらなる少人数学級の推進が求められます。また、多忙を極める教員の働き方改革を推進するためにも、教員の配置基準の見直しや財政措置が不可欠です。

そこで、さらなる少人数学級の推進、複式学級の編制基準の引き下げ、教員基礎定数算出に用いる係数の改善、少数職種の配置増とともに必要な予算確保を求める内容です。

陳情採択を受けた意見書案が、生活文教常任委員会から提案されました。

9月定例会 議案等賛否一覧

※議案等について、賛成、反対の双方があった場合のみ表示しています。

議案名等 ＼ 議員名（議席順）	議決等結果	中山 透	林 吉広	野沢弘子	竹元完奈	髙橋幸二	林 元夫	樽川信仁	大橋和子	花岡 進	金井敬子	青木利子	豊島健之	松井節夫
子育てふれあいセンター条例の廃止	可　決	／	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×
令和７年度　下水道事業会計決算	認　定	／	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	×

賛成者は「○」、反対者は「×」とします。議長は採決に加わらないため、「斜線」としています。
なお、下諏訪町議会は会派制をとっていないため、氏名は議席順に掲載しています。